

全国学力・学習状況調査の結果について

南丹市立殿田中学校

本年4月、全国の中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について本校の結果概要をお知らせします。3年生の成果や課題について明らかにし、今後の指導に役立てていきます。

また、保護者の皆様には家庭学習や、生活習慣の見直しに向けての参考にいただければ嬉しく思います。なお、この調査は学力の特定の一部分を測るものであり、学力のすべてを測るものではないことをご理解ください。

全国・学力学習状況調査について（調査内容は次の2つです）

- 1 教科に関する調査（国語・数学・英語の3教科のテストです）
英語は、「英語」「英語（話すこと）」の2つの調査を行っています。
- 2 質問紙調査
生活習慣や学習環境等に関する様子

1 調査結果からわかったこと

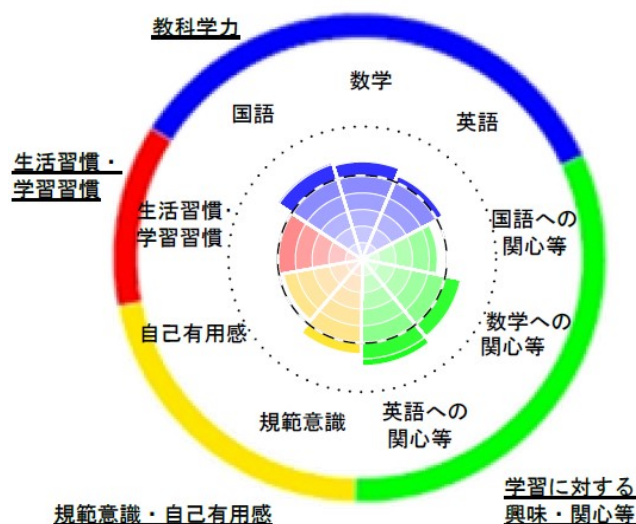
右下のグラフは太い点線の円が京都府平均を表しています。その周囲の凹凸が本校の結果を表しています。国の平均との比較でもほぼ同様の結果が出ています。

（1）教科に関する調査

教科	結果
国語	上回る
数学	上回る
英語	同程度
英語	上回る

以上のことから、国・府の平均と比較すると、国語・数学は上回り、英語はやや上回っている状況です。

京都府平均と本校平均との比較



（2）質問紙調査

府と比較すると、本校の3年生は国語への関心は同程度、数学・英語への関心はやや高い結果となっています。また、生活習慣・学習習慣、自己有用感と同程度、規範意識はやや上回っています。本校生徒は、ルールを守り、日々の学校生活や家庭生活を落ち着いて過ごしている一方で、後述にもある通り「将来の夢や目標」など一部の項目にはやや自信を持ってない状況が伺えます。

2 結果を受けて学校として進めていくこと

本校では、主体的・対話的に学ぶ生徒の育成と、学びの「気付き」が生まれる授業づくりを目指し研究を進めています。また、英語科が中核となってすすめてきた「コミュニケーション力を高める授業」の取組を全教科に広げています。今年度は行事等における異年齢集団での繋がりを重視した取組を推し進め、更に同学年での支え合いを通じて、自己有用感を高め協働して困難を解決する力を育てています。

生活面では、スケジュール手帳の活用を通じて、予定を確認する、計画を立て先の見通しを持つ、定期的に振り返るなど、自己管理能力を高める機会を設定する取組を進めています。

＜国語＞ 基礎・基本の定着を基盤として、新聞読解学習など発展的な学習内容にも挑戦し、全員が主体的に学び合う授業を目指します。

＜数学＞ 「学び合い」等の学習形態を通して、自ら考える（自分たちで考える）授業をつくります。また、身の回りの事象を数学的視点で考えさせることを通じ、課題解決の力を高めるとともに、自らの学びを深めたり数学の有用性に気付かせたりする授業を目指します。

＜英語＞ 「英語を使って何かできるのか」を単元の目標として、音声中心の4技能5領域を統合した授業づくりを進めていきます。発信態度・表現力に見合う受信力を育成し、豊かなコミュニケーション力を育成します。

右の表1は、本校が「生徒に付けさせたい力」として特に重要だと考えている項目についての結果です。

この表から、自己肯定感や奉仕・社会貢献の気持ちは概ね高い一方、具体的な将来展望や家庭学習時間は低いことがわかります。また、京都府よりは高いもののいじめの100%否定には至らず、人権意識について粘り強く取り組む必要があります。

表2は、表1と関係する項目を示しています。努力の後に得られる達成感を多くの生徒が感じている一方で、それらの経験が将来の困難を乗り越える自信にまで繋がりがきれていない現状が伺えます。

今後は、誰かの助言がなくても、先の見通しを持つことや生活を振り返ること、学習についても、自ら判断し学びに向かう力を身に付けるための支援をしていきたいと考えています。

3 ご家庭へのお願い

お子さんの意思を尊重しつつ、単に高校等の進学だけでなく、将来的な見通しについて折に触れて話し合ってくださいとともに、学校とも充分連携をとりながら、お子さん自身が自らの歩む道を決定できるよう支援をお願いします。そのために、

○家庭学習の開始時間を固定するなど、自己管理能力を高めるための道具として、ご家庭でもスケジュール手帳を大いに活用させてください。

○インターネットやSNS、ゲームの利用について、お子さんと約束事をつくり、守らせるようお願いいたします。

○家庭で役割を決め自分が責任を受け持つ仕事をする、できる範囲で地域の行事に参加するなど、人との繋がりの中で学び、経験を積む機会を持たせるようお願いいたします。

表1	本校	京都府
自分には良いところがある	38%	26%
人の役に立つ人間になりたい	79%	70%
将来の夢や目標がある	29%	41%
平日の家庭学習が1時間以上	42%	64%
いじめはどんな理由でもいけない	88%	79%
地域の行事に参加している	29%	19%

表2	本校	京都府
学級で協力する取組で嬉しかった経験がある	71%	44%
物事をやり遂げて嬉しかった経験がある	83%	74%
難しい事でも失敗を恐れず挑戦する	17%	23%
人が困っているときは進んで助ける	25%	28%
家で自分で計画を立て勉強している	4%	14%